

大阪市立 育和小学校

所在地 〒546-0002 東住吉区杭全4-10-12
 電話 06-6713-1253
 URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741696>
 校長名 安藤 直



携帯用 スマホ用



標準服 有 集団登校 有



学校概要

教育目標、めざす子ども像

教育目標

力強く生きぬく力を育む教育活動を推進する。

めざす子ども像

1. 自ら学び、自ら考える子（主体性・判断力）
2. ちがいを認め合い、支えあう子（豊かな情操）
3. ねばり強く、最後までやりぬく子（耐性）
4. いのちを大切に、たくましく生きる子（強いからだ 健康）

運営に関する計画

1. 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現

- ① 道徳教育の充実「あいさつ運動の推進」
- ② 人権を尊重する教育の推進「ピア・サポート活動の推進」
- ③ 教育環境の整備「ビオトープをはじめとする学校全体の美化」
- ④ 国際社会に生きる子どもの教育の推進「多様な体験活動の充実」
- ⑤ 防災教育の推進「防災授業、地域と連携した避難訓練の実施」

2. 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- ① 個に応じた指導の充実「朝や昼学習の充実」
- ② 自主学習習慣の確立「全学年家庭学習教材の提供、自主学習ノートの活用」
- ③ 学び続ける教員サポート事業の充実「全員公開授業の実施」
- ④ 授業研究・校内研修の充実「国語科授業研究会、その他研修会の充実」
- ⑤ 体育的活動の充実「なわとび週間等の実施」
- ⑥ 食育活動の充実「栄養指導、HP、食育だより等による啓発」
- ⑦ 健康な生活習慣の確立Ⅰ「手洗い・うがい・給食時の身だしなみの習慣化」
- ⑧ 健康な生活習慣の確立Ⅱ「けがの防止の啓発」

重点推進事項

- ・全学年英語学習・プログラミング学習の実施
- ・ICT機器の積極的な活用
- ・今川小、および白鷺中との教育連携

体力・運動調査結果

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	男子	13.89	19.52	31.38	40.07	46.74	9.28	159.54	21.77	52.43
女子	女子	14.27	17.51	33.65	37.04	33.51	9.56	153.37	14.10	52.86

男子は、8項目中2項目で、女子は8項目中3項目で全国平均を上回った。項目別では、男女ともに、50m走、立ち幅とびが、女子はソフトボール投げで全国平均を上回った。その他の項目は、全国平均を下回った。男女ともに、立ち幅とびはとも高い数値がでている。その一方で握力はかなり低い結果となった。体力合計点では、全国平均点を男子は1.73ポイント、女子は2.86ポイントそれぞれ下回った。大阪市の平均点とは、男子は0.36ポイント、女子は1.72ポイント下回っている。

本校では、年度末アンケートで、児童が「体育の学習や外遊びが楽しい」の項目で「楽しい」と答える割合および、保護者が「子どもが運動を楽しんでいる」との項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える割合を、平成29年度末に90%以上とする中期目標を立て取り組んできた。授業を工夫し

児童数・学級数

平成30年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	82	106	91	91	96	115	581
学級数	3	3	3	3	3	3	18
特別支援学級							6

学力調査結果

	国語A	国語B	算数A	算数B
平均正答率 (%)	69	47	74	39

国語A・B、算数A・Bともに全国の平均を上回ることができなかった。しかし、無解答率は、国語A・B、算数A・Bともに大阪市の平均より低い数値となった。知識問題は理解できている児童が多いが、活用問題は苦手な児童が多い。特に国語では「話すこと聞くこと」算数では「数量関係」の理解に課題がある。

国語、算数のA問題は、大阪市の平均よりやや低い数値であったが、国語、算数のB問題は全国平均より5%ほど低い数値であった。全学年で家庭用学習教材を基本的に毎日提供したこと、高学年においては自主学習ノートを活用することに取り組み、少しずつ成果はでてきている。今年度から自主学習ノートの活用を全学年とし、今後も引き続き学力向上を継続して取り組んでいきたい。国語、算数のB問題の数値を上げていくために、読書活動の充実をさらに進め、国語力向上の基礎を確立することで言語力の育成につなげていくことが必要である。また、学力の基礎となる児童の基本的な生活習慣の確立のために食育や睡眠時間などをはじめ、家庭での基本的な生活習慣の確立について、さらに家庭と学校との連携を密にして、生活のリズムを確立したり、家庭での学習を習慣づけたりするなど、よりよい学習環境に改善していくことが必要である。

*全国・大阪市の平均についてはP10参照

たり週に2回、25分間のロング休みを設ける等外遊びのできる時間や内容を工夫したり、なわとび集会を行うなど、様々な取り組みを行ってきたが、平成29年度末アンケート結果では、児童が78%、保護者が87%という数値になり目標を達成することができなかった。今後、数値を上げるために学校での体力向上の取り組みを再度見直し、学校、家庭、地域が連携し「運動が楽しい」と思う児童の割合を高めることから、児童の運動能力の向上につなげたい。

また、長期休業の期間や毎週の休みの日に、地域の様々な体育施設の利用を積極的に推進しながら、休日の過ごし方について、家庭や地域と一体になり、今後も、運動習慣を定着させることを通じて、児童の体力・運動能力の向上を図りたい。

*全国・大阪市の平均についてはP10参照

美しい環境の整備

「美しい環境が、豊かな人間性と確かな学力を育む」という教育理念のもと、日々の清掃活動・環境整備に励んでいます。平成16年（2004年）に完成した学校ビオトープ「自然の空間」では、さまざまな生物とふれあうことができます。



学力と体力の向上

全学年家庭学習教材、自主学習ノート等を活用することにより、自主学習の習慣を確立し、学力の向上を図っています。また、なわとび週間やロング休み時間を通して、体育の時間以外でも体を動かす体育的活動の充実に努めています。



育和タイムの実施

給食・清掃後の時間を、月・水・金は英語学習、火・木はロング休み時間とする「育和タイム」を実施しています。お昼の時間を有効に活用し、子どもたちの学力・体力の向上を目指す、育和小学校の新たな取り組みです。



読書活動の推進

子どもたちに大人気の図書室には、毎日多くのボランティアさんが来校され、絵本の読み聞かせなどをしてくださっています。朝の読書タイムや、家庭での読書推進にも力を入れています。



ピア・サポート活動の推進

互いの人権を尊重し、良さを認め合う豊かな心を育むことを目的とした「ピア・サポート活動」に取り組んでいます。他学年、なかよし学級、国際クラブとの交流を通じ、一人ひとりが互いに助け合う温かな人間関係を築くことを目指します。



家庭・地域との積極的な交流

PTAやはぐくみネットの皆さんの活動が盛んです。登下校の子ども見守り活動や「校庭キャンプ」「育和チャレンジランキング」をはじめ様々な行事が企画されています。また「ミニバスケットボール」や「サッカー」「キックベースボール」「ソフトボール」「ソフトバレーボール」など課外のクラブ活動も盛んです。

